

【5/8】 原発ゼロ社会への行程 行財政の仕組みをつくりかえる

<http://e-shift.org/?p=2999>

2014年4月11日(金) 原発回帰を明記した新しいエネルギー基本計画が閣議決定されました。奇しくもその翌日に発表されたのが、「脱原子力政策大綱」です。

2013年4月から様々な分野の市民や専門家が集い議論を重ねてきました。本セミナーではその中で、「原発ゼロ社会への行程(第5章)」を中心に扱い、行財政の仕組みをどのように作り変えていくべきか、議論します。

『原発ゼロ社会への道 市民がつくる脱原子力政策大綱』

http://www.ccnejapan.com/?page_id=3000

多数の市民・市民専門家が参加する原子力市民委員会にて取りまとめる。A4版237ページ、1000円。

ウェブサイトからご意見も受付中。



【日時】 2014年5月8日(木) 12:30~14:30

申込不要。12:00よりロビーにて通行証を配布します。

【場所】 衆議院第二議員会館 多目的会議室

(最寄: 国会議事堂前、永田町)

【プログラム】

1. eシフト、原子力市民委員会の取り組み紹介
「脱原子力政策大綱」とは
2. 大島堅一(立命館大学国際関係学部教授)
原発ゼロ社会への行程の基本的アウトライン
3. 松原弘直(環境エネルギー政策研究所)
現状の体制の課題
新エネルギー基本計画、原子力損害賠償支援機構法の改正、
再生可能エネルギー導入や再稼動に関する判断体制など
4. 質疑応答

【資料代】 1000円

(『原発ゼロ社会への道 市民がつくる脱原子力政策大綱』をお持ちの方は無料)

【主催】 eシフト(脱原発・新しいエネルギー政策を実現する会) 原子力市民委員会



【連絡先】 eシフト事務局 03-6907-7217 (FoE Japan 内)

